

# 工事現場に掲げる標識類について

## 1. 工事現場に掲示が必要な標識類（必須）

### ① 建設業許可票

建設業の許可票			
商号又は名称	〇〇株式会社		
代表者の氏名	代表取締役 〇〇 〇〇		
監理技術者の氏名	専任の有無	〇〇 〇〇	専任
資格名	資格者証交付番号	一級土木施工管理技士	第〇〇〇〇号
一般建設業又は特定建設業の別	特定建設業		
許可を受けた建設業	土木・とび・土工・舗装		
許可番号	国土交通大臣許可（特-〇〇）第××××号		
許可年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		

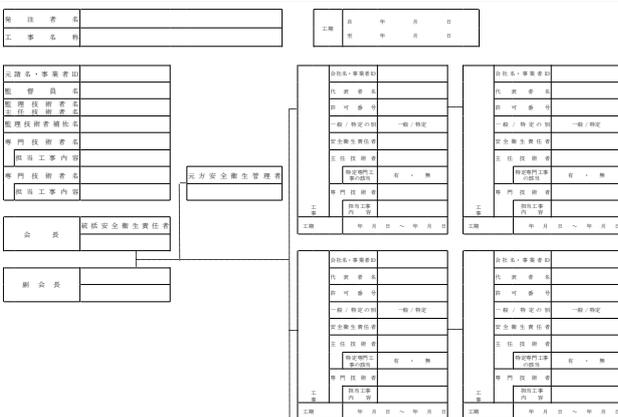
- 掲示場所  
工事現場の公衆の見やすい場所
- 標識寸法  
縦 25cm 以上×横 35cm 以上
- 掲示根拠  
建設業法 第 40 条  
建設業法施行規則 第 25 条 1, 2
- 留意事項
  - 元請のみならず、下請が建設業許可を得ている場合も掲示する。  
※R2.10 から元請のみ掲示に変更。
  - 「専任の有無」は、専任の場合は「専任」、専任していない場合は「非専任」と記載。
  - 「資格者証交付番号」は、監理技術者が専任の場合、資格者証の交付番号を記載。
  - 「許可を受けた建設業」は、当該現場で行っている工事で許可を受けた建設業を記載。

### ② 労災保険関係成立票

労災保険関係成立票	
保険関係成立年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
労働保険番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
事業の期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日から 平成〇〇年〇〇月〇〇日まで
事業主の住所氏名	〇〇市〇〇町〇〇-〇 〇〇建設(株) 代表取締役社長 〇〇 〇〇
注文者の氏名	〇〇市長 〇〇 〇〇
事業主代理人の氏名	〇〇 〇〇

- 掲示場所  
事業場の見やすい場所
- 標識寸法  
縦 25cm 以上×横 35cm 以上  
地色：白 文字：黒
- 掲示根拠
  - 労働者災害補償保険法施行規則 第 49 条
  - 労働保険の保険料の徴収等に関する法律施行規則 第 77 条
- 留意事項  
「事業主代理人の氏名」欄は、「事業主の住所氏名」欄に記載した氏名  
※以外の場合は、労働基準監督署に届出した代理人（支店長等）の氏名を記載する。代理人の届出がない場合は、空欄とする。

### ③ 施工体系図



- 掲示場所  
工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所（両方を兼ねることも可）
  - 標識寸法  
規定なし（読みやすい大きさにすること）
  - 掲示根拠
    - 建設業法 第 24 条の 7 第 4 項
    - 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律 第 15 条第 1 項
- ※R2.10 から「代表者の氏名、特定専門工事の該当の有無、当該下請負人が受けた建設業の許可の番号、受けた許可の一般建設業及び特定建設業の別」の記載が追加。

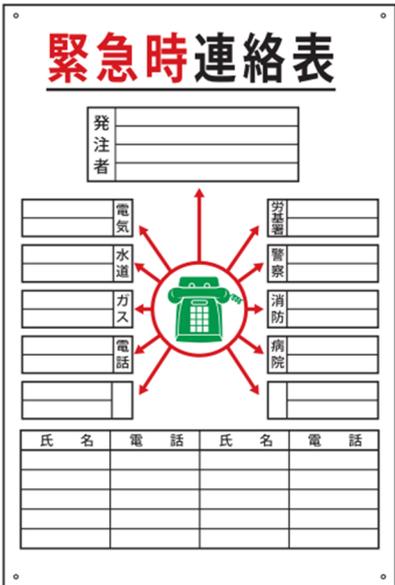
④ 下請負人に対する通知（下請契約のある工事）

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>下請負人となった皆様へ</b> </div> <p>この建設工事の下請負人となり、その請け負った建設工事を他の建設業を営む者に請け負わせた方は、遅滞なく、建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第14条の4第1項に規定する再下請負通知書を提出してください。</p> <p>一度通知した事項や書類に変更が生じたときも変更の年月日を付記して同様の書類の提出をしてください。</p> <p style="text-align: right;">〇〇建設㈱</p>	<p>(1) 掲示場所 工事現場の見やすい場所</p> <p>(2) 標識寸法 規定なし（読みやすい大きさにする）</p> <p>(3) 掲示根拠 建設業法施行規則 第14条の3</p> <p>(4) 留意事項 再下請負通知書の提出については、掲示とともに下請負人へ書面による通知が必要。</p>
--	--

⑤ 建設業退職金共済（建退共）制度適用事業主の現場標識

	<p>(1) 掲示場所 現場事務所や工事現場の出入口など見やすい場所</p> <p>(2) 標識寸法 大（A3）・小（A4）のシールいずれか</p> <p>(3) 掲示根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建退共制度改善方策について（労働省、建設省、建退共本部）H11.3.18</li> <li>・公共工事の入札及び適正化を図るための措置に関する指針</li> <li>・第2入札及び契約の適正化を図るための措置4(4)のハ</li> </ul>
--	--

⑥ 緊急時連絡表

	<p>(1) 掲示場所 現場事務所や工事現場の出入口など</p> <p>(2) 掲示内容 関係連絡先、現場代理人等の電話番号を記載する（記入場所の指定なし）</p> <p>(3) 標識寸法 規定なし（確認しやすい大きさ）</p> <p>(4) 掲示根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木工事安全施工指針 第1章第4節 工事現場管理 5(3)</li> <li>・労働安全衛生規則 第642条の3</li> </ul>
---	--

⑦ 作業主任者選任表示板

<div style="text-align: center; color: green; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">作業主任者一覧表</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作業区分</th> <th style="text-align: center;">氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足場の組立て等</td><td></td></tr> <tr><td>型枠・支保工組立て等</td><td></td></tr> <tr><td>地山の掘削</td><td></td></tr> <tr><td>土留め支保工</td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">型わく支保工の組立て等 作業主任者の職務</p> <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1. 作業の方法を決定し、作業を直接指揮すること。</p> <p>2. 材料の欠点の有無並びに器具及び工具を点検し、不良品を取除くこと。</p> <p>3. 作業中、安全帯等及び保護帽の使用状況を監視すること。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">作業主任者氏名</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">作業主任者の職務</p> <p>1. 作業方法及び労働者の配置を決定し、作業を直接指揮し、作業状況を監視する。</p> <p>2. 安全帯、保護帽等安全用具の使用状況の監視、点検をする。</p> <p>3. 材料の欠点の有無並びに器具及び工具を点検し、不良品をとり除く。</p> <p>4. 各主任持連内の作業状態と作業課題を的確に把握し、労働者の事故防止に努める。</p> </div>	作業区分	氏名	足場の組立て等		型枠・支保工組立て等		地山の掘削		土留め支保工								作業主任者氏名		<p>(1) 掲示場所 現場事務所や工事現場の出入口などの見やすい場所（人数が多い場合は、職務を併記した一覧表でも可）</p> <p>(2) 標識寸法 規定なし（確認しやすい大きさ）</p> <p>(3) 掲示根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 労働安全衛生法 第 14 条</li> <li>• 労働安全衛生法施行令 第 6 条</li> <li>• 労働安全衛生規則 第 18 条</li> </ul>
作業区分	氏名																		
足場の組立て等																			
型枠・支保工組立て等																			
地山の掘削																			
土留め支保工																			
作業主任者氏名																			

⑧ 建築基準法による確認表板（建築工事）

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">建築基準法による確認済</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>確認年月日番号</td> <td>平成〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇〇〇号</td> </tr> <tr> <td>確認済証交付者</td> <td>〇〇地域振興局 〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>建築主又は建築主氏名</td> <td>〇〇市長 〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>設計者氏名</td> <td>〇〇設計㈱ 〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事監理者氏名</td> <td>〇〇市役所 〇〇〇〇課 〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事施工者氏名</td> <td>〇〇建設㈱ 代表取締役 〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事現場管理者氏名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>建築確認に係るその他の事項</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建築基準法による確認済		確認年月日番号	平成〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇〇〇号	確認済証交付者	〇〇地域振興局 〇〇 〇〇	建築主又は建築主氏名	〇〇市長 〇〇 〇〇	設計者氏名	〇〇設計㈱ 〇〇 〇〇	工事監理者氏名	〇〇市役所 〇〇〇〇課 〇〇 〇〇	工事施工者氏名	〇〇建設㈱ 代表取締役 〇〇 〇〇	工事現場管理者氏名	〇〇 〇〇	建築確認に係るその他の事項		<p>(1) 掲示場所 工事現場の見やすい場所</p> <p>(2) 標識寸法 縦 25cm 以上×横 35cm 以上</p> <p>(3) 掲示根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建築基準法 第 89 条第 1 項（工事現場における確認の表示等）</li> <li>• 建築基準法施行規則 第 11 条（工事現場の確認の表示の様式）</li> </ul>
建築基準法による確認済																			
確認年月日番号	平成〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇〇〇号																		
確認済証交付者	〇〇地域振興局 〇〇 〇〇																		
建築主又は建築主氏名	〇〇市長 〇〇 〇〇																		
設計者氏名	〇〇設計㈱ 〇〇 〇〇																		
工事監理者氏名	〇〇市役所 〇〇〇〇課 〇〇 〇〇																		
工事施工者氏名	〇〇建設㈱ 代表取締役 〇〇 〇〇																		
工事現場管理者氏名	〇〇 〇〇																		
建築確認に係るその他の事項																			

⑨ 解体工事業者登録票（解体工事）

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">解体工事業者登録票</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商号、名称又は氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人である場合の代表者の氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>登録番号</td> <td>〇〇〇県知事（登-〇〇）第〇〇号</td> </tr> <tr> <td>登録年月日</td> <td>平成〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td>技術管理者の氏名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	解体工事業者登録票		商号、名称又は氏名		法人である場合の代表者の氏名		登録番号	〇〇〇県知事（登-〇〇）第〇〇号	登録年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	技術管理者の氏名		<p>(1) 掲示場所 工事現場の公衆の見やすい場所</p> <p>(2) 標識寸法 縦 25cm 以上×横 35cm 以上</p> <p>(3) 掲示根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建設業法 第 40 条</li> <li>• 建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律（通称：建設リサイクル法）第 33 条</li> </ul> <p>(4) 留意事項 解体工事を営もうとする者は、当該業を行おうとする区域を管轄する都道府県知事の登録を受けなければならないが、建設業許可（解体工事業（工作物の解体）、土木工事業（土木工作物の解体）又は建築工事業（建築物の解体））を有している場合は、登録の必要は無し。</p>
解体工事業者登録票													
商号、名称又は氏名													
法人である場合の代表者の氏名													
登録番号	〇〇〇県知事（登-〇〇）第〇〇号												
登録年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日												
技術管理者の氏名													

⑩ 安全管理組織図

安全衛生+管理組織		
総括安全衛生管理者		
統括安全衛生責任者		
安全管理者		
衛生管理者		
産業医		
安全推進員		
安全衛生責任者		

- (1) 掲示場所  
安全衛生推進者（衛生推進者）を選任している場合は、作業場の見やすい箇所に掲示（事業規模 10～50 人）
  - (2) 標識寸法  
規定なし（確認しやすい大きさ）
  - (3) 掲示根拠  
労働安全衛生規則 第 12 条の 4  
（安全衛生推進者等の氏名の周知）
- ※施工体系図に工事作業所災害防止協議会兼施工体系図の様式を使用し、工事関係者が見やすい場所に掲示している場合は、掲示不要。

⑪ 産業廃棄物保管場所の掲示

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の保管場所			
保管する産業廃棄物の種類	がれき類、金属くず、廃プラスチック類		
保管高さの上限	がれき類〇〇m 金属くず〇〇m 廃プラスチック類〇〇m		
保管数量の上限	がれき類〇〇m <sup>3</sup> 金属くず〇〇m <sup>3</sup> 廃プラスチック類〇〇m <sup>3</sup>		
管理者名	〇〇工業(株) 担当者 〇〇	連絡先	〇〇〇-〇〇〇〇

- (1) 掲示場所  
保管施設の出入り口等、見やすい場所
  - (2) 標識寸法  
縦及び横それぞれ 60cm 以上
  - (3) 掲示根拠  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則 第 8 条（産業廃棄物保管基準）  
第 8 条の 13（特別管理産業廃棄物の保管基準）
- ※保管場所周囲には囲いを設ける  
※面積が 300m<sup>2</sup> 以上である場所で行われる保管については、産業廃棄物の事業場外保管届出が必要。

⑫ 石綿（アスベスト）を使用した建築物の解体等工事

(届出対象)

**建築物等の解体等の作業に関するお知らせ**

当現場では、労働基準監督署へ  
 ・労働安全衛生法第88条4項（労働安全衛生規則第90条第5号の2）の規定による計画の届出  
 ・石綿障害予防規則第5条第1項の規定による作業の届出  
 また、都・道・府・県、市役所へ  
 ・大気汚染防止法に基づく届出  
 を行っております。

労働基準監督署届出年月日	平成 年 月 日	作業期間	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
都・道・府・県、市役所届出年月日	平成 年 月 日		
届出内容 (石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容)			
石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の概要：		平成 年 月 日（表示日）	
を石綿作業主任者に選任しています。		施工業者名： _____	
石綿に係る特別の教育を受講した者が作業を行っています。		連絡先： _____	
受講した特別の教育： _____ の実施した講習（平成 年 月受講）		現場責任者氏名： _____	

(届出対象以外)

**建築物等の解体等の作業に関するお知らせ**

石綿障害予防規則に基づき、当現場では適切な石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策を行っております。

石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容	作業期間	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の概要：	平成 年 月 日（表示日）	
を石綿作業主任者に選任しています。	施工事業者名： _____	
石綿に係る特別の教育を受講した者が作業を行っています。	連絡先： _____	
受講した特別の教育： _____ の実施した講習（平成 年 月受講）	現場責任者氏名： _____	

(1) 掲示場所

工事現場の見やすい場所

(2) 標識寸法

~~規定なし（確認しやすい大きさ）~~

※R3.4 からA3 以上に変更。  
(42.0cm×29.7cm)

(3) 掲示根拠

- ・大気汚染防止法施行規則第16条の4
- ・大気汚染防止法 第18条の14、  
第16条の4第2項

⑬ 石綿（アスベスト）の使用状況の事前調査結果

(石綿無し)

石綿（アスベスト）の使用状況の調査結果（例）

石綿無し

大気汚染防止法第18条の17第4項・石綿障害予防規則第3条第3項の規定に基づく表示

事業場の名称	〇〇産業株式会社 〇〇工場	建築物等の種別	工場
調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等の資料の確認 (主な書類の名称: 設計図書) <input checked="" type="checkbox"/> 現場での目視確認 <input checked="" type="checkbox"/> 建材分析による確認 ( JIS法による定性分析 ・ JIS法による定量分析 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
調査箇所	1~3階 天井・壁・床	発注者からの通知	有り (設計図書)
調査の結果	<input type="checkbox"/> 石綿建材は使用されていませんでした。 <input type="checkbox"/> 特定工事に該当しませんが、その他の石綿含有建材が使用されています。 (手ばらし、散水等を徹底し、適切に解体等工事をを行います。) <input type="checkbox"/> 特定工事に該当する石綿建材が使用されています。 (監督官庁へ届出を行い、適切に飛散防止措置を講じた上で除去します。) 【使用されている石綿 (含有) 建材の種類】 (使用箇所) <input type="checkbox"/> 吹付け石綿 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有保温材 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有断熱材 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有耐火被覆材 ( ) <input type="checkbox"/> その他の石綿含有建材 ( )		
調査終了年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	発注者	〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇〇〇
調査者(受注者)	株式会社〇〇興業 代表取締役 〇〇〇〇	受注者連絡先	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
分析者	〇〇分析株式会社 代表取締役 〇〇〇〇	分析者氏名	〇〇 (Aランク認定分析技術者)

- (1) 掲示場所  
工事現場の見やすい場所
- (2) 標識寸法  
~~規定なし(確認しやすい大きさ)~~  
※R3.4 からA3 以上に変更。  
(42.0cm×29.7cm)

- (3) 掲示根拠
- ・大気汚染防止法 第18条の17第4項
  - ・大気汚染防止法 第18条の15第5項、第16条の10
  - ・石綿障害予防規則 第3条第3項

(レベル3)

石綿（アスベスト）の使用状況の調査結果（例）

レベル3のみ

大気汚染防止法第18条の17第4項・石綿障害予防規則第3条第3項の規定に基づく表示

事業場の名称	〇〇産業株式会社 〇〇工場	建築物等の種別	工場
調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等の資料の確認 (主な書類の名称: 設計図書) <input checked="" type="checkbox"/> 現場での目視確認 <input checked="" type="checkbox"/> 建材分析による確認 ( JIS法による定性分析 ・ JIS法による定量分析 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
調査箇所	1~3階 天井・壁・床	発注者からの通知	有り (設計図書)
調査の結果	<input type="checkbox"/> 石綿建材は使用されていませんでした。 <input checked="" type="checkbox"/> 特定工事に該当しませんが、その他の石綿含有建材が使用されています。 (手ばらし、散水等を徹底し、適切に解体等工事をを行います。) <input type="checkbox"/> 特定工事に該当する石綿建材が使用されています。 (監督官庁へ届出を行い、適切に飛散防止措置を講じた上で除去します。) 【使用されている石綿 (含有) 建材の種類】 (使用箇所) <input type="checkbox"/> 吹付け石綿 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有保温材 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有断熱材 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有耐火被覆材 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他の石綿含有建材 ( 石綿含有ビニル床タイル:1~3階床 )		
調査終了年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	発注者	〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇〇〇
調査者(受注者)	株式会社〇〇興業 代表取締役 〇〇〇〇	受注者連絡先	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
分析者	〇〇分析株式会社 代表取締役 〇〇〇〇	分析者氏名	〇〇 (Aランク認定分析技術者)

(レベル1・2)

石綿（アスベスト）の使用状況の調査結果（例）

レベル1、2あり

大気汚染防止法第18条の17第4項・石綿障害予防規則第3条第3項の規定に基づく表示

事業場の名称	〇〇産業株式会社 〇〇工場	建築物等の種別	工場
調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等の資料の確認 (主な書類の名称: 設計図書) <input checked="" type="checkbox"/> 現場での目視確認 <input checked="" type="checkbox"/> 建材分析による確認 ( JIS法による定性分析 ・ JIS法による定量分析 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
調査箇所	1~3階 天井・壁・床	発注者からの通知	有り (設計図書)
調査の結果	<input type="checkbox"/> 石綿建材は使用されていませんでした。 <input type="checkbox"/> 特定工事に該当しませんが、その他の石綿含有建材が使用されています。 (手ばらし、散水等を徹底し、適切に解体等工事をを行います。) <input checked="" type="checkbox"/> 特定工事に該当する石綿建材が使用されています。 (監督官庁へ届出を行い、適切に飛散防止措置を講じた上で除去します。) 【使用されている石綿 (含有) 建材の種類】 (使用箇所) <input checked="" type="checkbox"/> 吹付け石綿 ( 2階 天井 ) <input type="checkbox"/> 石綿含有保温材 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有断熱材 ( ) <input type="checkbox"/> 石綿含有耐火被覆材 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他の石綿含有建材 ( 石綿含有ビニル床タイル:1~3階床 )		
調査終了年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	発注者	〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇〇〇
調査者(受注者)	株式会社〇〇興業 代表取締役 〇〇〇〇	受注者連絡先	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
分析者	〇〇分析株式会社 代表取締役 〇〇〇〇	分析者氏名	〇〇 (Aランク認定分析技術者)



## 2.工事現場掲示が望ましい標識類（例）

### ① 有資格者一覧表

有資格者一覧表		
資格の種類	会社名	氏名
車両系建設機械運転技能講習		
移動式クレーン		
玉懸け技能講習		

**玉掛技能資格者の職務**

1. 玉掛作業者は玉掛技能講習修了証を携帯すること。
2. 玉掛作業をする時は周囲の作業環境の安全について十分注意すること。
3. 玉掛用具は必ず作業前の点検をすること。及び定期的に点検し、異常を認めたら即時に補修するかまたは取替えること。
4. 玉掛作業では荷の重量、荷の重心を把握したのち荷の形状により安全な玉掛用具を選定すること。
5. 荷が回転したり、移動したりしないよう形状に合った玉掛を行うこと。
6. 運搬については安全を確認したあと誘導を行い、荷は安定させて置くこと。
7. 合図は指名された1人で定められた方法で明確に行うこと。

玉掛作業責任者氏名

- (1) 掲示場所  
工事現場の見やすい場所
- (2) 掲示内容
- ・就業制限業務及び特別教育を必要とする業務に従事する者を表示する。
  - ・当該工事における該当作業に対する有資格者を掲示する。
- (3) 標識寸法  
規定なし（確認しやすい大きさ）
- (4) 関係法令
- ・労働安全衛生法 第59条第3項
  - ・労働安全衛生法 第61条
  - ・労働安全衛生法施行令 第20条
  - ・労働安全衛生規則 第36条

### ② 道路使用許可証（道路を占有する工事）

別記様式第六号（第十条関係）

**道路使用許可申請書**

年 月 日

警察署長殿

住所  
申請者 氏名 印  
TEL

道路使用の目的	
場所又は区間	
期 間	年 月 日 時から 年 月 日 時まで
方法又は形態	
添付書類	
現場住所	
責任者氏名	電話

第 号

**道路使用許可証**

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

条 件	
-----	--

年 月 日

警察署長 印

- (1) 掲示場所  
工事現場の見やすい場所
- (2) 標識寸法  
写し等で、確認しやすい大きさ

- 備考
- 1 申請者が法人であるときは、申請者の欄には、その名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名を記載すること。
  - 2 申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
  - 3 方法又は形態の欄には、工事又は作業の方法、使用面積、行事等の参加人員、通行の形態又は方法等使用について必要な事項を記載すること。
  - 4 添付書類の欄には、道路使用の場所、方法を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。
  - 5 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

③ 道路工事届出書（届出先：魚沼市消防本部）

様式第13号(第13条関係)

工 事  
道 路 占 用 届 出 書

魚沼市消防長 様		年 月 日
届出者 住 所 氏 名 電話番号		㊟
工 事 予 定 日 時	自	
	至	
路 線 及 び 箇 所		
工 事 内 容		
現 場 責 任 者 氏 名		
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。  
 3 使用する防火対象物の略図を添付すること。  
 4 ※印の欄には、記入しないこと。  
 5 この届出書は、2部提出すること。

- (1) 掲示場所  
工事現場の見やすい場所
- (2) 標識寸法  
写し等で、確認しやすい大きさ
- (3) 関係法令  
 ・ 魚沼市火災予防条例 第 45 条  
 ・ 魚沼市火災予防条例施行規則 第 13 条  
 ※消防隊の通行その他消火活動に支障を及ぼすおそれのある道路工事を行う際に届出を提出する必要があります。

④ 断・減水届（届出先：魚沼市消防本部）

様式第11号(第13条関係)

断  
水 道 水 届 出 書  
減

魚沼市消防長 様		年 月 日
届出者 住 所 氏 名 電話番号		㊟
断 水 予 定 日 時	自	
減	至	
断 水 区 域		
工 事 場 所		
理 由		
現 場 責 任 者 氏 名		
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。  
 3 断・減水区域の略図を添付すること。  
 4 ※印の欄には、記入しないこと。  
 5 この届出書は、2部提出すること。

- (1) 掲示場所  
工事現場の見やすい場所
- (2) 標識寸法  
写し等で、確認しやすい大きさ
- (3) 関係法令  
 ・ 魚沼市火災予防条例 第 45 条  
 ・ 魚沼市火災予防条例施行規則 第 13 条  
 ※消防隊が消火活動に支障を及ぼすおそれのある断水又は減水を伴う工事を行う際に届出を提出する必要があります。

